

診断群分類の見直し作業等の実施について（案）

1. 背景

- 診断群分類（DPC）については、診療報酬改定時に合わせて、最新の診療実態や臨床的知見を踏まえた見直しを行うとともに、適切な診断群分類の設定に必要な様式1の見直し及び「DPC/PDPS 傷病名コーディングテキスト」の見直しを行っている。
- 平成30年5月の中央社会保険医療協議会総会での了承事項に基づく、DPC 評価分科会と入院医療等の調査・評価分科会の再編・統合以降は、診断群分類が安定的に運用されてきていることを踏まえ、MDC（Major Diagnostic Category：主要診断群）毎の臨床の専門家の意見を聞きながら、事務局において診断群分類の技術的な見直し作業を行ってきたところ。
- 一方で、DPC/PDPS の運用等に係る事項については、入院・外来医療等の調査・評価分科会（以下、「分科会」という。）及び分科会に設置された DPC/PDPS 等作業グループにおいて検討の対象としており、令和4年度診療報酬改定に向けた議論においては、診断群分類の設定に係る観点として、下記のような指摘もあったところ。

（令和3年10月27日 入院医療等の調査・評価分科会 診-1-1）
入院医療等の調査・評価分科会におけるこれまでの検討結果（とりまとめ）（抜粋）
4. DPC/PDPS について

- ・ 例えば、急性心筋梗塞のように、発症からの日数によって病態が変わる疾患については、今後、発症日からの日数で、さらに診断群分類を区別できるよう検討することも考えられるのではないか、という指摘があった。

2. 対応（案）

- 今後の診断群分類の見直し作業等については、分科会での検討内容とより連動する形で実施できるよう、診断群分類の見直しに係る検討を行う場及び検討内容等を、以下のように整理することとしてはどうか。
- （1）会議体の位置づけ
- ・ 分科会及び DPC/PDPS 等作業グループにおいては引き続き、診断群分類のあり方等を含めた DPC/PDPS の運用等に係る課題の検討を行う。

● 診療情報・指標等作業グループ

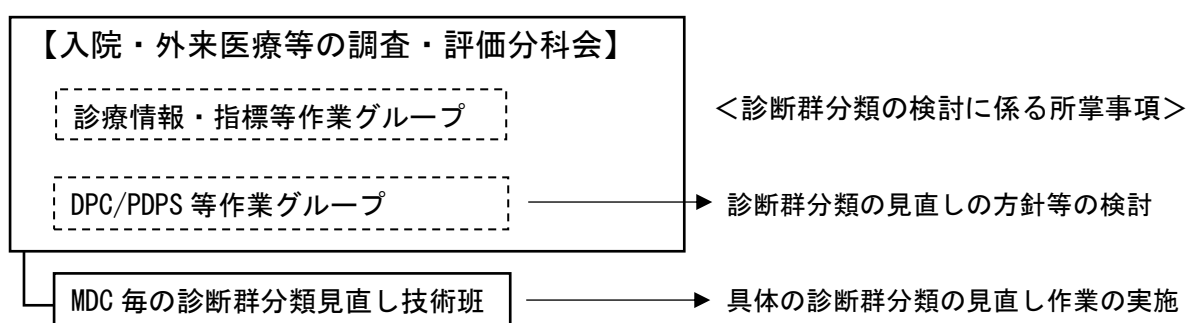
1) 診療実績データの分析に関する事項

- 2) データの利活用の在り方に関する事項
- 3) その他、データ提出に係る診療情報や指標に関する事項

● DPC/PDPS 等作業グループ

- 1) DPC/PDPS の運用に関する事項
- 2) DPC 退院患者調査に関する事項
- 3) その他 DPC/PDPS に関する事項

- ・ 分科会及び DPC/PDPS 等作業グループでの検討内容等を踏まえた、具体的な診断群分類の見直し作業等の実施を行う検討組織を、分科会の下に設置する。
- ・ 当該組織の名称については、実施する作業内容を踏まえ、「MDC 毎の診断群分類見直し技術班」（以下、「MDC 技術班」という。）とする。



(2) MDC 技術班の検討事項

- ① 診断群分類の見直し
 - ICD コードと DPC 上 6 桁コードの対応関係の見直し
 - 手術や定義副傷病等の見直し
- ② 様式 1 の見直し
 - 診断群分類の設定に必要な調査項目の追加
 - 診断群分類に不要な調査項目の削除
- ③ コーディングテキストの見直し
 - コーディングルールの明確化
 - コーディング事例の追加
- ④ その他、分科会での検討内容を踏まえた事項

(3) MDC 技術班の構成

- ・ MDC 技術班は、各診療科分野の臨床の専門家及び公衆衛生学分野等の専門家で構成する。
- ・ 構成員は、診療報酬調査専門組織の保険医療専門審査員をもって充てる。
- ・ 構成員から、総括（内科系、外科系）を 2 名指名する。
- ・ 総括の指名は、分科会長が行う。